

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院新生児科に、人工肛門造設術で通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院新生児科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

極低出生体重児の小腸ストーマケアの実態調査

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院看護科 リソースナース室 根岸 睦

3. 研究の目的

極低出生体重児のストーマケアは、身体的特徴や特殊な環境、ストーマ用品の少なさなどから、ストーマの合併症を起こしやすく管理が困難となることが考えられます。しかし、現在ストーマ装具選択やケアの明確な基準がなく、施設毎に独自に工夫が行われています。極低出生体重児のストーマケア方法の実態と直面する困難を理解し課題を見出すことで、ストーマケア方法の確立の一助となり、質の高い看護につながると考えられます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

極低出生体重児で腸穿孔、壊死性腸炎、鎖肛、ヒルシュスプルング病等の患者さんで、平成26年4月1日から平成29年3月末日までの期間中に、人工肛門造設術の手術治療を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、在胎週数、出生児体重、疾患名、人工肛門造設術を受けた日齢、体重、ストーマ造設理由、腹部のストーマ造設位置、ストーマケア方法に関する情報です。

(3) 方法

診療情報から得られたデータは集計し、記述統計量を用いて分析します。データの分析は中央研究機関群馬県立小児医療センターで行われます。その他、この研究は宮城県立こども病院、千葉県こども病院、国立成育医療研究センター、福岡市立こども病院、自治医科大学附属病院、日本小児総合医療施設協議会に登録の施設など全国の小児専門施設で共同研究されます。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院看護科 リソースナース室 皮膚・排泄ケア認定看護師 根岸 睦

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834